

災害に備える

アイ・エス・ケー株式会社
Integrated System Knowledge

災害に備える 地震 地震発生時の行動
地震直後の行動
地震後の行動

災害に備える 水害 平常時に
避難時は
風雨の知識、河川の知識
注意報・警報について
避難情報について

災害に備える 地震

アイ・エス・ケー株式会社
Integrated System Knowledge

地震発生時の行動

1. 地震発生！まず身の安全

室内

- ・揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたときは、身の安全を最優先に行動する。
- ・丈夫な机の下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

屋外

- ・かばん等で頭を保護し、危険な物を避ける
(ブロック塀が倒れたり、窓ガラスや看板が落ちてきます。
安全な建物に入るか、広い場所へ避難しましょう。)



災害に備える 地震

アイ・エス・ケー株式会社
Integrated System Knowledge

地震直後の行動

2. 慌てた行動はけがのもと

室内

- ・転倒・落下したキャビネット類やガラスの破片などに注意する。
 - ・重量のある機器から離れましょう。
 - ・階段の踊り場や柱のそばに移動しましょう。
 - ・窓や戸を開け出口を確保しましょう。
 - ・避難は階段でエレベーターは絶対に使わない。
 - ・エレベーターの中で揺れを感じたら、行先階のボタンをすべて押し、最初に停止した階で降りる。
- 万が一閉じ込められたら、インターホンで通報する。

屋外

- ・電車の中では倒れないよう、つり革や手すりにしっかりつかまりましょう。（勝手に車外に飛び出さず、乗務員の指示に従いましょう。）
- ・危険地域からは即座に避難する。（門や塀の側、山崩れ、崖崩れ、津波等の危険な地域からすばやく避難しましょう。）
- ・自動車はすぐに左に停車させる（急ブレーキはかけずにゆっくり速度を落とし、左に寄せて停止しましょう。駐車場や空き地があればそこに停車する。揺れがおさまるまで待ち、カーラジオで情報入手する。避難するときはキーをつけたまま、ドアロックはしない。）

災害に備える 地震

アイ・エス・ケー株式会社
Integrated System Knowledge

地震後の行動

3. 火災や津波確かな避難

- ・大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難する。
(停電になっても非常照明がつくまで落ち着いて待つ。火災が発生したら煙を吸い込まないよう低姿勢で移動しましょう。)
- ・沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所にすばやく避難する。
- ・正しい情報で確かな行動をとりましょう。
- ・協力しあって救出・救護をしましょう。
- ・避難の前に安全確認をしましょう。



震度と人の体感・行動 (※気象庁「気象庁震度階級関連解説表」より)

震度階級	人の体感・行動
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
5強	大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。
6弱	立っていることが困難になる。
6強	立っていることができず、はわないと動くことが出来ない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。
7	

災害に備える 水害

アイ・エス・ケー株式会社
Integrated System Knowledge

平常時に

- ✓ 避難するところと避難行動、避難経路を確認しておきましょう。
 - ・洪水ハザードマップを確認して、居住地・職場の地域の避難するところや避難行動を確認しておきましょう。
- ✓ 非常時の持ち出し品を準備しましょう
 - ・避難時の持ち出し品は日頃から準備して、必要最低限の持ち出し品は事前に準備しましょう。
- ✓ 防災、減災に対する知識を持ちましょう
 - ・日頃から減災や強風の知識や危険な場所を知り、水害への危機意識を高めましょう。
- ✓ 日ごろから防災に備えましょう
 - ・道路側溝や雨水ますの吸い込み口が詰まると道路冠水や浸水の原因となる恐れがあります。日頃から清掃を行うよう心がけましょう。

災害に備える 水害

アイ・エス・ケー株式会社
Integrated System Knowledge

避難時は

- ✓ **避難の呼びかけに注意し、正確な情報を収集しましょう**
 - ・危険が迫ったときに自治体などから避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合は、速やかに避難しましょう。
- ✓ **動きやすい服装で2人以上での避難を**
 - ・浸水しているところでは、深さがわからないため杖や棒などを持って歩きましょう。
- ✓ **緊急活動の妨げになるので、車での避難は控えましょう**
 - ・水防活動の妨げになるので、防堤に車を放置してはいけません。
- ✓ **逃げ遅れた場合には高い建物に避難しましょう**
 - ・万が一逃げ遅れた場合は、3階以上の丈夫な建物に避難しましょう。



災害に備える 水害

アイ・エス・ケー株式会社
Integrated System Knowledge

風雨の知識

☑ 風の強さとその影響

平均風速(毎秒)	風の強さ	影響
10～15m	やや強い風	風に向かって歩きにくい。傘がさせない。
15～20m	強い風	風に向かって歩くことが出来ない。小枝が折れる。
20～25m	非常に強い風	車の運転は危険。風で飛ばされたもので窓ガラスが割れる。
25～30m	非常に強い風	樹木が倒れ、ブロック塀が壊れる。屋外での行動は危険。
30m以上	猛烈な風	屋根が飛ばされたり。木造住宅の全壊が始まる。

☑ 雨の強さとその影響

平均雨量(毎時)	雨の強さ	影響
10～20mm	やや強い雨	ザーザーと降る。話し声が聞き取りにくくなる。
20～30mm	強い雨	どしゃ降りの雨。傘をさしていても濡れる。
30～50mm	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。山崩れや崖崩れが起こりやすくなる。
50～80mm	非常に激しい雨	滝のように降り、傘はまったく役に立たなくなる。
80mm以上	猛烈な雨	雨による大規模な災害が発生する恐れが強い。

災害に備える 水害

アイ・エス・ケー株式会社
Integrated System Knowledge

河川の知識

☑ 河川(氾濫)の防災情報について

名称	発出されるタイミング
氾濫注意情報	河川の氾濫発生に注意を求める水位。この水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合発表される。
氾濫警戒情報	氾濫に対する警戒が必要な水位。さらに水位の上昇が見込まれる場合や、一定時間後に氾濫危険水位に到達が予想される場合に発表される。
氾濫危険情報	氾濫の恐れがある水位で、「いつ氾濫してもおかしくない」状態。付近の住民は、この水位に到達する前に避難を完了しているべき危険な状態。
氾濫発生情報	既に河川の氾濫が発生している状況。

災害に備える 水害

アイ・エス・ケー株式会社
Integrated System Knowledge

注意報・警報について

注意報	大雨、洪水、暴風等により災害が起こる恐れがある場合	最新の情報に注意して、災害に備えた早めの準備避難に時間がかかる場合は、早めの避難行動を！
警報	大雨、洪水、暴風等により重大な災害が起こる恐れがある場合	自治体が発表する避難に関する情報に注意し、速やかな避難を！
特別警報	数十年に一度の大雨が予想される場合 浸水や土砂災害など重大な災害が起こる恐れがある場合	自治体からの避難情報等に従い直ちに安全なところへ避難！ 外出が危険な時は室内の少しでも安全な場所へ移動
土砂災害警戒情報	大雨警報(土砂災害)が発表され、土砂災害の発生がさらに高まったときに、崖崩れと土石流の警戒を呼びかける情報です。発表されたら、自治体からの避難情報に注意して下さい。	
記録的短時間大雨情報	災害につながるような猛烈な雨量であるお知らせ。この情報が発表された場合は早めの避難を心がけて下さい。	

災害に備える 水害

アイ・エス・ケー株式会社
Integrated System Knowledge

避難情報について

避難準備・高齢者等避難開始

いつでも避難が出来るように準備しましょう。
高齢者の方等、避難に時間を要する方は避難を開始しましょう。

避難勧告

すぐに3階以上の丈夫な建物に避難しましょう。
外出することでかえって命に危険が及ぶ状況では室内の安全な場所に避難しましょう。

避難指示(緊急)

まだ避難していない人は、ただちに3階以上の丈夫な建物に避難して下さい。
避難の時間的余裕がない場合は生命を守る最低限の行動をして下さい。

必ずしもこの順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。

また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じた場合は避難を開始して下さい。